公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

探鳥会スタッフ通信

2017年
10月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆オホーツク支部のコミュニケーションを支える喫茶店・・・・・・・・・・・・・・・・・1
◆書店と連携した支部の活動　山形県支部・2
◆探鳥会訪問記・・・・・・・・・・・・・・・3
・Young 探鳥会 in 東よか干潟（佐賀県支部）
・栃木から葛西臨海公園に遠征！「ユース観察会」（栃木）
◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・5
（2017年８月分）
◆普及室からのお知らせ・・・・・・・・・・7
・2017年度「会員を増やすための探鳥会」の日程をお知らせします！
・「会員を増やすための探鳥会」を広報しています
◆自然保護室からのお知らせ・・・・・・・・9
・農林水産大臣から感謝状をいただきました
◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・10
◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について 11
◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・11

◆オホーツク支部のコミュニケーションを支える喫茶店

オホーツク支部は会員減に悩む全国の支部の中で、会員を増やし続けている元気な支部です。そのオホーツク支部の活力の源になっているのが「ふれっぷ」という喫茶店。以前からお噂は聞いていたのですが、9/2～9/3 に行われた北海道ブロック協議会でようやく「ふれっぷ」の佐藤陽子さんにお目にかかり、お話を伺うことができました。

佐藤さんは、オホーツク支部の事業部長でもあります。支部の販売を担当されており、Ｔシャツや野帳など支部のオリジナル商品も扱っています。学校の先生を早期退職されて、今から約 16 年前に「ふれっぷ」を始めました。

オホーツク支部と出会ったそもそものきっかけは、店を始めて２年くらい経ったころ、呼人（よびと）探鳥遊歩道で地元の農大生に出会ったことでした。この農大生は、鳥のことを少しお話して「もし時間があったらお店に来てくださいね。」と声をかけると、時々立ち寄ってくれるようになりました。その農大生が会員であったことから、野鳥の会に入りたいと伝えて 2004 年に入会したのが支部との出会いとなりました。その農大生は今でもお店に訪ねてきてくれます。

はじめて支部の探鳥会に参加して、東本さん（支部の会計）に支部長を紹介してもらい、その人柄にすっかりファンの一人になりました。支部の探鳥会もとても雰囲気がよくて、初参加の時は誰でも気後れするものですが、このときはそんな気がねは必要なく、とても気持ちよく参加することができました。

オホーツク支部の探鳥会の雰囲気は支部の中で伝統のように大切に守られていています。佐藤さんもその後支部の中で活動に参加するようになってから、ご自身のお友達を次々に誘われて探鳥会に参加されたそうですが、誘った友達はみんな「雰囲気がいい！」とほめてくれ

▲店主の佐藤陽子さん

▲「ふれっぷ」の外観

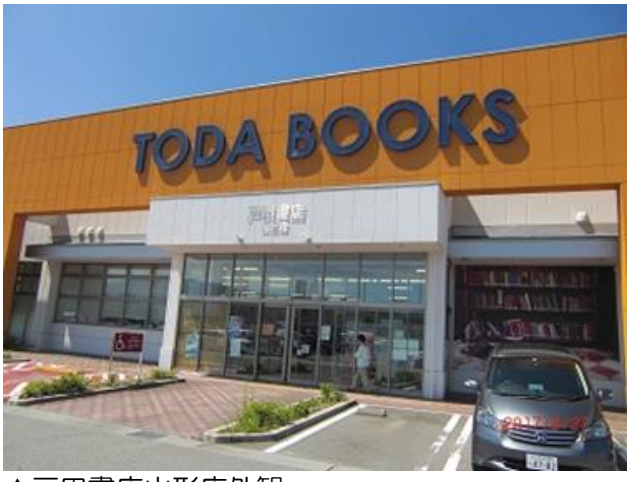
たそうです。
　さらに佐藤さんはこう語ります。「川崎支部長を応援したい。支部の人たちはみんなそう思っています。」佐藤さん自身が初めての方に親切丁寧に対応するのは、ご自身が初心者の時にそうして対応された経験を持っているから。そしてそのムードは、川崎支部長のムードそのものなのでしょう。お話を聞きながらそんなことを思いました。
　「ふれっぷ」は、毎月１回の支部報「ばあどこおる」の印刷と袋詰めの作業場所になっています。その他、店内には支部の入会パンフが常に置いあって、興味がありそうなお客さんには探鳥会をお勧めしている、とのことでした。支部の人もみんな気軽に立ち寄り、本や資料を「〇〇さんに渡しておいて。」というときも佐藤さんは気軽に預かって受け渡しをされています。人が集まってくるので、様々な情報も集まってきます。情報が集まるからさらに人も集まるということで、事務所のない支部にとって、こうした拠点があることはどれだけ支部の中のコミュニケーションを円滑にしてくれているかはかり知れません。オホーツク支部の、「人が集まる。」「会員が増える。」秘密の一端を垣間見たような気がしました。

（普及室／箱田敦只）

◆書店と連携した支部の活動　山形県支部

　山形県支部には、支部の活動を強力にサポートしてくれる本屋さんがあります。その本屋さんは「戸田書店山形店」さんです。
　事の始まりは、書店の店員の方が支部の会員でもあったことから、この店員さんの企画で今年の 3/15 から 2 か月間「野鳥を知ろう～野鳥の本と写真フェア～」を開催したことでした。このフェアは支部が全面的に協力して、店内で野鳥の写真展を開催した他、支部お勧めの本を紹介するコーナーを設置しました。
　当時、この店員さんが店長に企画を提案してみると、実は店長も大の鳥好きだということが判明しました。子どものころから一人で野鳥を見ていて、今でも夜な夜なフクロウを求めて神社という神社を歩き回るほどの熱心なバードウォッチャーだったそうです。
　このフェア以降、支部とのお付き合いが始まり、書店では入会パンフや「おさんぽ鳥図鑑プレゼント葉書」を置いていただいたりして、引き続き会の活動を PR してくださっています。店長さんもこの写真展をきっかけに支部に入会してくださいました。
　私は 8/26 に開催された支部設立 40 周年記念行事に参加させていただき、その後の懇親会

▲笠原店長（右）と細谷山形県支部副支部長（左）



▲戸田書店山形店外観

▲バードウォッチングフェアの様子

で店長さんと知り合うことができ、翌日さっそく戸田書店さんにお邪魔してみました。店内は広く、子どもを遊ばせる「キッズコーナー」がある他、児童書にかなり力を入れているご様子。各書棚には手作りのポップが貼られていて、「自分の好きな本を紹介したい」という店員さんの熱意が伝わってきました。

当会を紹介するコーナーでは、「トリーノ」や入会パンフの他、普及室で発行している小冊子プレゼント葉書もおいていただいていました。店長さんは、「書店の野鳥コーナーを通じて、お客様に野鳥の面白さを伝えたい。支部の活動を本屋という立場からサポートしたい。」とおっしゃっていました。

今回ご紹介した書店の他にも、全国の支部には、喫茶店や博物館、公民館など、様々な施設と協力関係を結んで普及活動を行っている例があると思います。こうした事例は、地域の中で支部活動を円滑に進めるうえで有効な方法だと思います。ぜひ、みなさまの支部の事例を「探鳥会スタッフ通信」でご紹介ください。

（普及室／箱田敦只）

◆探鳥会訪問記

Young 探鳥会 in 東よか干潟（佐賀県支部）

佐賀県支部では初開催の「Young 探鳥会」に参加しましたので、当日の様子をご報告いたします。

【日程】2017 年 9 月 10 日（日）
9 時 00 分～12 時 00 分
【場所】東よか干潟（佐賀県佐賀市）
【天候】晴れ
【参加者】75 名

■探鳥会の概要

ラムサール条約湿地である「東よか干潟」は、シギ・チドリの飛来数が日本一といわれており、絶滅が危惧されている希少な野鳥も飛来します。定例の探鳥会も開催されていますが、今回は佐賀県支部では初めてとなる「Young 探鳥会」が開催されました。また、せっかくの干潟での観察ということで、財団からもバードウォッチング長靴の貸出を行いました。

■探鳥会の様子

受付は、東よか干潟の駐車場にテントをたてて行われました。担当リーダーの小学生と中学生のお子さんが受付を行ったため、開始前から和やかな雰囲気となりました。受付には、佐賀県支部オリジナルの「カササギ」のピンバッジも置いてあり、自分用やお土産用にと購入している方がいました。手にとりやすいオリジナル商品があると、探鳥会での販売に効果的だと感じました。

参加者は 75 名で、九州はもちろんのこと、東京、神奈川、愛知、大阪、滋賀、広島など全国から集まりました。長崎県から来た参加者からは「Young 探鳥会は、九州ではほかにもやっていますか？」と質問もあり、Young 探鳥会への関心の高さが伺えます。

観察がはじまって堤防から下りると、観察初心者の方からはシギの数の多さに驚きの声が。

▲観察の様子

広大な干潟と大きな群れの中では、自力で見つけることが難しいため、初心者はリーダーのまわりに集まり、解説を受けながらの観察となりました。日本野鳥の会東京の若手リーダーが、近くにいる参加者に解説をする場面もありました。

ダイゼン、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、カラフトアオアシシギなどなど…シギ・チドリだけで 20 種類以上見られ、初心者にもベテランにも満足度の高い探鳥会となりました。

観察後には公園内のガイダンスルームでお茶とおやつの用意もあり、希望者はそこで交流することもできました。交流できる休憩場所や、泥を落とす洗い場があることも参加者にはありがたい環境でした。

■感想

参加者が全国から集まり、年代や観察経験も幅広い層の方がいる探鳥会でした。また、複数の支部からも参加があったので、参加者同士、支部同士の交流にもなっていたことが印象的でした。今回は初めての Young 探鳥会ということでしたが、ここまで全国から幅広い層の人が集まる探鳥会も少ないと思うので、今後も続いていくといいなと思いました。

（普及室／嶋村早樹）

栃木から葛西臨海公園に遠征！「ユース観察会」（栃木）

【日程】2017 年９月９日（土）
10 時 00 分～13 時 00 分
【場所】葛西臨海公園（東京都江戸川区）
【天候】晴れ
【参加者】19 名
【リーダー】２名

■探鳥会の概要

葛西臨海公園（東京都江戸川区）で、日本野鳥の会栃木が「ユース観察会」を開催しました。「ユース観察会」は、探鳥会のなかでも、特に若い人たちを対象としています。通常は栃木県内で開催されていますが、今回は遠征ということで、初めて東京都の葛西臨海公園で開催されました。

■観察の様子

参加者は、栃木県の大学の野鳥サークル「探鳥会」のメンバーや、日本野鳥の会東京の方々、広報を見て参加された方など。19 名ほどが参加し、２名の大学生リーダーのもとで、葛西臨海公園の、西なぎさと鳥類園で観察しました。栃木と東京の、それぞれのフィールドの話も盛り上がり、終始和やかな雰囲気で進みました。日本野鳥の会東京の方々は、海岸での観察にも慣れている方が多く、たくさんの野鳥を見つけてくださいました。

「探鳥会」のサークルの方とお話ししたところ、今年は新入生の勧誘に成功して、たくさんの新入生がサークルに入ってくれた、とのこと。成功の秘訣は？と聞いてみると、「10 回くらいの新入生向けの観察会を行った。何回か参加してから、入ってくれる新入生が多い」、「和やかな雰囲気のサークルであることをアピールした」、「参加してくれる人は生きもの好きの人が多いので、探鳥会と動物園などを組み合わせると、特に喜んでもらえた」など、支部の会員の勧誘の参考にもなりそうな情報を教えてくださいました。

▲観察の様子

最後は、鳥類園ウォッチングセンターで鳥合わせ。30 種ほどを確認しました。

■感想

遠征の探鳥会は、土地勘や参加者数の心配など、企画者にとっては不安もある企画かもしれません。代わりに、普段お会いできない地域の方々との交流や、自分のフィールドではなかなか見られない野鳥の観察など、得られるものも大きいのだと感じました。

（普及室／井上奈津美）

◆探鳥会保険集計結果（2017 年８月分）

８月は 64 支部からご報告をいただき、計 171 回の探鳥会が開催され、のべ 4,080 人が参加されました。

表 1. ８月の探鳥会保険集計結果（2017 年８月 15 日現在）

支部	開催回数（回）	参加者数		スタッフ数（人）	合計人数（人）
		会員（人）	非会員（人）		
小清水	−	−	−	−	−
オホーツク支部	1	23	5	1	29
根室支部	−	−	−	−	−
釧路支部	2	14	21	5	40
十勝支部	−	−	−	−	−
旭川支部	−	−	−	−	−
滝川支部	−	−	−	−	−
道北支部	2	8	2	2	12
江別支部	−	−	−	−	−
札幌支部	2	58	36	6	100
小樽支部	2	7	4	2	13
苫小牧支部	−	−	−	−	−
室蘭支部	1	13	6	3	22
函館支部	−	−	−	−	−
道南桧山	1	9	14	2	25
青森県支部	−	−	−	−	−
弘前支部	2	14	0	2	16
秋田県支部	3	30	4	3	37
山形県支部	1	28	16	6	50
宮古支部	−	−	−	−	−
もりおか	1	6	2	3	11
北上支部	1	11	0	1	12
宮城県支部	2	28	6	5	39
ふくしま	2	42	0	4	46
郡山支部	3	49	16	9	74
二本松	−	−	−	−	−
白河支部	2	4	0	9	13
会津支部	−	−	−	−	−
奥会津連合	−	−	−	−	−
いわき支部	1	17	23	1	41
福島県相双支部	−	−	−	−	−
南相馬	−	−	−	−	−
茨城県	7	49	26	11	86
栃木	−	−	−	−	−
群馬	4	47	88	13	148
吾妻	0	0	0	0	0
埼玉	5	131	17	36	184
千葉県	6	76	26	25	127
東京	13	344	7	65	416
奥多摩支部	6	132	171	40	343
神奈川支部	7	70	24	20	114
新潟県	−	−	−	−	−
佐渡支部	−	−	−	−	−

富山	1	16	7	2	25
石川	3	32	122	12	166
福井県	0	0	0	0	0
長野支部	1	27	0	2	29
軽井沢支部	1	3	5	1	9
諏訪支部	1	9	10	2	21
木曽支部	-	-	-	-	-
伊那谷支部	0	0	0	0	0
甲府支部	1	21	3	2	26
富士山麓支部	1	5	2	2	9
東富士	-	-	-	-	-
沼津支部	1	12	5	2	19
南富士支部	1	27	33	2	62
南伊豆	0	0	0	0	0
静岡支部	-	-	-	-	-
遠江	2	35	13	6	54
愛知県支部	8	67	38	21	126
岐阜	-	-	-	-	-
三重	1	14	22	2	38
奈良支部	3	52	61	6	119
和歌山県支部	0	0	0	0	0
滋賀	3	17	22	6	45
京都支部	2	27	33	5	65
大阪支部	12	173	82	50	305
ひょうご	6	52	104	19	175
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	3	19	28	3	50
島根県支部	2	13	4	2	19
岡山県支部	2	36	27	5	68
広島県支部	3	32	37	3	72
山口県支部	2	12	29	2	43
香川県支部	2	55	8	3	66
徳島県支部	5	49	13	5	67
高知支部	1	3	5	1	9
愛媛	4	40	16	6	62
北九州支部	1	6	0	1	7
福岡支部	6	48	12	16	76
筑豊支部	3	31	1	3	35
筑後支部	-	-	-	-	-
佐賀県支部	2	37	42	4	83
長崎県支部	-	-	-	-	-
熊本県支部	4	37	12	4	53
大分県支部	2	23	16	2	41
宮崎県支部	3	7	3	4	14
鹿児島	1	11	10	3	24
やんばる支部	-	-	-	-	-
石垣島支部	-	-	-	-	-
西表支部	-	-	-	-	-
全国	171	2258	1339	483	4080

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

◆普及室からのお知らせ

■2017 年度「会員を増やすための探鳥会」の日程をお知らせします！■

2017 年度「会員を増やすための探鳥会」は、現在のところ 22 支部で 35 回開催される予定です。

来年度以降に「会員を増やすための探鳥会」の開催をご検討している支部の方のうち、探鳥会の見学をご希望される方がいらっしゃいましたら、財団普及室（TEL：03-5436-2622、FAX：03-5436-2635、E-mail：tancho-staff@wbsj.org ）までご相談ください。

表2．2017 年度「会員を増やすための探鳥会」日程一覧（2017 年 10 月 10 日現在）

支部	実施日	実施場所
滝川支部	11/4（土）	滝川西公園
札幌支部	12/23(土・祝)	北海道大学構内
苫小牧支部	11/3（金・祝）	ウトナイ湖周辺
山形県支部	11/25（土）	霞城公園
宮城県支部	11/5（日）	青葉山公園
茨城県	12/10（日）	涸沼
	12/17（日）	小木津自然公園
栃木	11/25（土）	栃木県中央公園
	12/9（土）	鳥野目河川公園
	12/23（土）	永野川緑地公園
	1/06（土）	羽田沼
	1/20（土）	井頭公園
	2/03（土）	小山運動公園
	2/17（土）	なかがわ水遊園
群馬	12/17（日）	ぐんまこどもの国
埼玉	12/2（土）	大宮公園
千葉県	11/25（土）	千葉公園
	12/2（土）	江戸川河川敷

支部	実施日	実施場所
東京	11/3（金・祝）	日比谷公園
	11/23（木・祝）	井の頭公園
奥多摩支部	12/2（土）	昭和記念公園
神奈川支部	12/24（日）	山下公園
福井県	11/3（金・祝）	中池見湿地
諏訪	12/23（土・祝）	諏訪湖 横河川河口
奈良支部	11/23（木・祝）	平城宮跡・水上池
和歌山県支部		※年内は無し
滋賀	11/23（木・祝）	南郷洗堰
	11/25（土）	長等公園
	12/23（土・祝）	守山みさき自然公園
京都支部	11/23（木・祝）	鴨川
	12/16(土)	岡崎疏水
大阪支部	11/19（日）	長居自然史博物館（長居植物園）
	12/3（日）	服部緑地
ひょうご	12/16(土)	明石公園
熊本県支部		※年内は無し
宮崎県支部	11/19（日）	平和台公園
鹿児島	12/23（土・祝）	石橋記念公園

※色付きの支部は、今年度「会員を増やすための探鳥会」を初めて開催する支部です。

■「会員を増やすための探鳥会」を広報しています■

「会員を増やすための探鳥会」の開催にあたり、財団は以下の広報を実施しています。

（1）「初心者向け探鳥会のご案内」送付
10 月初旬に、年内の探鳥会の情報を掲載したパンフレット「初心者向け探鳥会のご案内」を約 80,000 名の非会員（小冊子申し込み者など）に送付しました。1 月以降に開催される探鳥会については、11 月中旬にパンフレットを発行し、広報する予定です。

・「初心者向け探鳥会のご案内」PDF
http://www.wbsj.org/shibu/tancho/img/beginnerbw_autumn.pdf

（2）財団 HP 上に特設ページ開設
財団 HP 内に、以下のページを公開しています。
・初心者向けバードウォッチングのご案内
http://www.wbsj.org/activity/event/beginners-event/

（3）一斉メール送信
10 月初旬に、約 50,000 名の非会員（小冊子申し込み者など）に探鳥会の広報を送信しました。1 月以降に開催される探鳥会については、1 月初旬に広報する予定です。

（4）記者クラブへの投げ込み
新聞記者などマスコミ関係者に向けて、探鳥会の広報を順次おこないます。

（5）その他
財団の Facebook、Twitter、ブログなどで探鳥会を広報します。

▲「初心者向け探鳥会のご案内」表紙

◆自然保護室からのお知らせ

■鳥インフルエンザへの対応に対して、農林水産大臣から感謝状をいただきました

昨年度、国内で発生した鳥インフルエンザへの対応に対して、農林水産大臣より感謝状をいただきました。直接の理由は、当会の金井参与が、農水省の防疫チームの一員として、発生農場での調査等に尽力されたことですが、各連携団体の皆さまが地域の自治体と連携して、野鳥における発生状況の把握などに務められたことなども評価されていると考えます。

◇昨年の鳥インフルエンザの概況

昨年は、家禽では 12 件の発生でしたが、野鳥では 22 都道府県で 24 種 178 個体　うち外来種 2 種 48 個体、動物園などの 32 羽の飼い鳥から H5N6 亜型の鳥インフルエンザが検出されました。糞便などからの検出も加えると 218 件で過去最大規模でした。

農水省がまとめた疫学調査報告書によると、「中国にあった H5N6 亜型のウイルスが極東ロシア北方や中国東北部からロシア沿海州いずれかの野鳥群の営巣地や中継地に侵入し、平成 28 年の秋の渡りの時期に、渡り鳥によって日本、韓国といった日本海を取り囲む地域（環日本海地域）に持ち込まれたと考えられた。」とされています。

◇今年も注意が必要

中国南部には、H5N1 亜型のウイルスが家禽や野鳥間で、モンゴル、ユーラシア大陸西方を由来とするウイルスとの間で遺伝子再集合を起こした結果生じた様々な亜型のウイルスが存在し、物流や野鳥の移動で拡散していることが想定されます。今年も、渡り鳥がやってくる季節となっていますが、多くの渡り鳥が利用する三江平原のある中国の黒竜江省で H7N9 亜型が確認されたとの情報もありますので、今年も注意が必要です。

▲感謝状は、当会を代表して理事長と自然保護室室員が受け取りました

（自然保護室／葉山政治）

◆今月の購読者

探鳥会スタッフ通信 10 月号の電子メール版の購読者数は、先月と同じ 810 名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表 3. 探鳥会スタッフ通信 10 月号電子メール版の購読者数（2017 年 10 月 10 日現在）

支部	購読者数
小清水	1
オホーツク支部	6
根室支部	0
釧路支部	2
十勝支部	1
旭川支部	3
滝川支部	1
道北支部	1
江別支部	0
札幌支部	4
小樽支部	3
苫小牧支部	2
室蘭支部	5
函館支部	0
道南桧山	1
青森県支部	1
弘前支部	4
秋田県支部	3
山形県支部	4
宮古支部	1
もりおか	4
北上支部	2
宮城県支部	39
ふくしま	4
郡山支部	1
二本松	1
白河支部	2
会津支部	2
奥会津連合	0
いわき支部	1
福島県相双支部	0
南相馬	0
茨城県	22
栃木	59
群馬	24
吾妻	1
埼玉	38
千葉県	21
東京	64
奥多摩支部	48
神奈川支部	21
新潟県	2
佐渡支部	1
富山	3
石川	29

支部	購読者数
福井県	10
長野支部	1
軽井沢支部	1
諏訪	6
木曽支部	1
伊那谷支部	1
甲府支部	4
富士山麓支部	0
東富士	0
沼津支部	3
南富士支部	3
南伊豆	2
静岡支部	2
遠江	9
愛知県支部	44
岐阜	5
三重	19
奈良支部	2
和歌山県支部	4
滋賀	19
京都支部	30
大阪支部	26
ひょうご	15
NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部	10
島根県支部	12
岡山県支部	27
広島県支部	9
山口県支部	3
香川県支部	6
徳島県支部	6
高知支部	1
愛媛	15
北九州	11
福岡支部	12
筑豊支部	21
筑後支部	5
佐賀県支部	5
長崎県支部	1
熊本県支部	14
大分県支部	4
宮崎県支部	4
鹿児島	3
やんばる支部	0
石垣島支部	1
西表支部	1
合計	810

（普及室）

◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

★編集後記

こちらは、もう冬かな？と思うくらいに朝晩が寒くなってきました。みなさま、秋の渡り鳥はみられましたか？

私は先月末に、タカの渡り調査にお邪魔させていただきました。肉眼では全く見えない、遠くからやってくるタカたちを、支部の方々が次々と見つけて説明してくださるのは本当に「すごい」の一言でした。

11 月から「会員を増やすための探鳥会」の開催が始まります。この通信でも、探鳥会の報告が続々と掲載される予定です。探鳥会の準備に加えて通信の編集も、気合いを入れて頑張ろう！と思っています。

（普及室／井上奈津美）

日本野鳥の会
探鳥会スタッフ通信　第55号
◆発行
（公財）日本野鳥の会　2017年10月17日
◆担当
普及室　普及教育グループ
〒141-0031
東京都品川区西五反田3-9-23丸和ビル
TEL：03-5436-2622
FAX：03-5436-2635
E-mail：tancho-staff@wbsj.org